

アルゼンチン放送規制開始に待った



あわやの敗北を喫したクリスチーナ大統領

成熟度試される民主主義

アルゼンチン国内の報道機関の活動を大幅に規制するメディア法の完全適用が、その前夜の6日に、合憲性が確認されるまで延期されたと7日付伯字紙が報じた。最高裁が政府の圧力に逆らい、クリスチーナ政権の敵とされるクラリン社の言い分を認めた事で、三権分立、言論の自由など、民主主義の根本に絡む議論も再燃しそうだ。

司法界が政府に叛旗 言論の自由や知る権利は

も予定していた。

ところ

が、勝利の日となる7日

を前に思わず敗北。大統

領や周辺は、裁判所は敵

に加担し、恥すべき判決

を下した。

「国益を無視

して民主主義を破壊する

逆賊」と非難した。

だが、政府から圧力を受けていると漏らしている

司法界が、ここ数ヶ月の緊張の中で三権分立の原則を貫き、民主主義や言論の自由、国民の知る権利を守るために法の番人としての姿勢を見せた事は、国内外からも評価されている。

古屋の人々は選手を待つ間も太鼓などを鳴らし続

けるコリンチアーノの様子に驚き、選手たちが泊まるホテルも、他の客に

東西南北

迷惑がかかるないように

入場が断りのサインを出した。コリンチヤン

スに朗報は、決勝進出時

に對戦が予想される英國

チエルシーのリーダー、

ランパードの欠場が決

まつたこと。コリンチ

アーノ共々波に乗るか。

グアルーリヨ空港と

の接続を売りにしたはず

CPTM 13号線だ

、空港駅は第1、第2

が、空港駅は第1、第2

が、空港駟は第1、第2

たんぼう
国柄探訪
平成24年11月25日号

メール
マガジン

こくさいほんじんようせいこうざ 國際添日本人養成講座

若き明治天皇を諫める 国史百景(2) 山岡鉄舟、

酒に酔つて殴りかかつた若き明治天皇を、山岡鉄舟は体を張つて諫めた。

1. 近代世界の大帝王

1912(明治45)年7月30日、明治天皇が崩御されるや、英國の首相アスキスが即座に下院に提出した追悼動議は、満場一致で可決された。その際の演説で、彼はこう述べている。

余は歴史上、日本天皇陛下の如く治世の短期間に、その国民ならびに世界人類のため、かく宏大に

してかつその必要からざる進歩発展をし給い

たる君主の名を挙ぐる事能わす。

アメリカでもニコーヨーク・トリビューン紙は、

「日本先帝陛下はその御治世の至重至要なるがた

うであろう」と評した。同様の論評が世界各国で

相次いで。(a)

幕末の日本は東洋の一小国として近代史に登場し

たのだが、半世紀後の大正日本はすでに世界の五

大国の一つとして数えられていた。この世界史に記

すべき日本の躍進を導いたのが明治天皇であった。

しかし、明治天皇ははじめから偉人天才であった

わけではない。明治元(1868)年に即位された時

はまだ15歳。英明な青年ではあったが、それが

世界から称賛される大君主にまで成長されたのは、

君側にあって天皇を将来の日本の指導的人格として

お育てしようとした努力した人々からである。

その中心人物の一人が、前回の「国史百景(1)」

[b]に登場した山岡鉄舟であった。

2. 明治天皇の侍従

3. 「山岡つ、立て！」

4. 鉄舟の覚悟

5. 「私が悪かった」

6. 臣下の公、天皇の公

7. ひたすらに國と國民を思われ

8. 生涯スポーツとして、トライしては！

アーチェリーのコンパウンド

西洋式御服を着用した明治天皇

明治5年(1872年)

西洋式御服を着用した明治天皇

明治5年(1872年)

西洋式御服を着用した明治天皇

西洋式御服を着用した明治天皇</h

(共同) 日本が環太平洋連携協定(TPP)に参加するかどうかは、衆院選の争点の一つだ。TPPは農産物を含めた関税を原則撤廃し、米国などを環太平洋の国との間で貿易を促進、経済を活性化することを目指しており、野田佳彦首相は参加に前向きだ。しかし、農産物の輸入が急増し、国内農業が壊滅しかねない。

TPPより人物で投票味には自信があるが、世の中では反対ばかりしかない。というのが正直な感想だ。

TPPの影響が心配される農村を歩いた。▽賛否論
薄暗い牛舎の中に、牛や子牛が並ぶ。鳥取県南部町の山あいの農村。酪農家板持若菜さん(49)は、1日に平均約1トンの生乳を生産する。世の中でも原発ゼロを実現する「卒原発」が柱だ。

TPPによる人物で投票

